

目指すは元気なまち盛岡!



地方においては、人口の首都圏への一極集中を防ぐため、若者の地元定着が課題となっていますが、本市においては、人口を維持・増加させるため、「子育て支援の充実」や「若者・女性に魅力がある仕事の創出」などに努めてまいります。特に、29年度は、総合計画において、「子育て応援プロジェクト」「きらり盛岡おでんせプロジェクト」、それに新たに追加した『食と農』『ものづくり』応援プロジェクト」を重

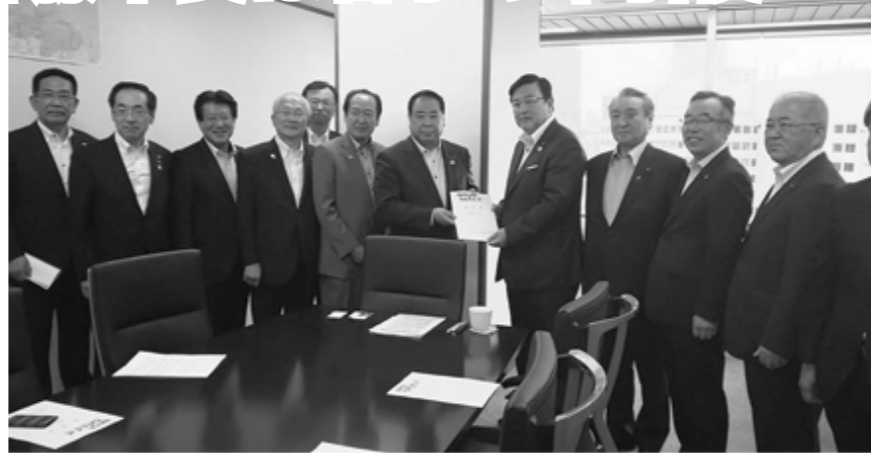
点化していますので、様々な新規事業に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

また、昨年、市民の皆さんの御支援・御協力により大成功に終えた「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の成果・遺産を生かしながら、今年は、カナダを相手国とする東京2020オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン交流事業」や、地元オリンピックの輩出を目指し、「エイト・オリンピックズ・プロジェクト」に取り組んでまいります。

また、「沖縄県うるま市友好都市締結5周年」や「盛岡さんさ踊り開幕40年」の節目を迎えますことから、うるま市との人的・文化的な交流をさらに発展させるとともに、さんさ踊りを通して盛岡の賑わいが向上するよう、努めてまいります。

私としては、総合計画を着実に推進しながら、本市が、東北の中核市として更に拠点性が高まり、魅力あふれるまちとなるよう、今年度も全力で取り組んでまいりますので、皆様の市政への御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

谷藤市長は岩手の牽引役



岩手県市長会の要望行動。復興庁や文部科学省、農林水産省を訪問し、復興道路や湾口防波堤の整備促進、国際リニアコライダー(ILC)の誘致実現、原木しいたけ生産の再生のための各種助成制度の拡充や農林水産業の体質強化、永続的で適切な水産資源の確保について要望して参りました。

子育て支援は地域の将来の活力に必要



もりおか子育て応援プラザ(愛称ma*mall マ・モール)の開所式。

人口減少・少子高齢化の進行が大きな社会問題となる中で、本市においては、若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、子育て支援に力を入れております

安心して暮らせるまち



盛岡市消防演習

勇気ある決断に今の町家がある

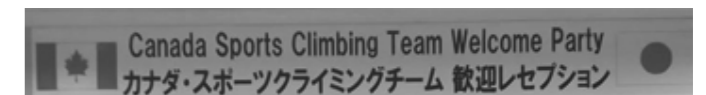
長年道路拡幅計画を見直した結果残った光



盛岡の春の風物詩「盛岡町家・旧暦の雑祭り」

盛岡市が東京五輪ホストタウンに登録 オリンピックに向けたホストタウン

事前キャンプについてカナダを中心に交渉しました。



カナダ・スポーツクライミングチーム



全国市長会議で

元気なまち盛岡
さらに充実



ラグビーワールドカップ2019実行委員会



雨でも元気



大盛岡神輿祭開会式



第39回全国スポーツ少年団剣道交流大会出場

新明館橋市道場はかつて市長も学んだ道場。「六三四の剣」のモデルとなった後輩の出場は実に21年ぶり6度目との事で、昨年のいわて国体の盛り上がりと同様に、子ども達の獅子奮迅の活躍を期待します。

谷藤市長も
剣道6段である

